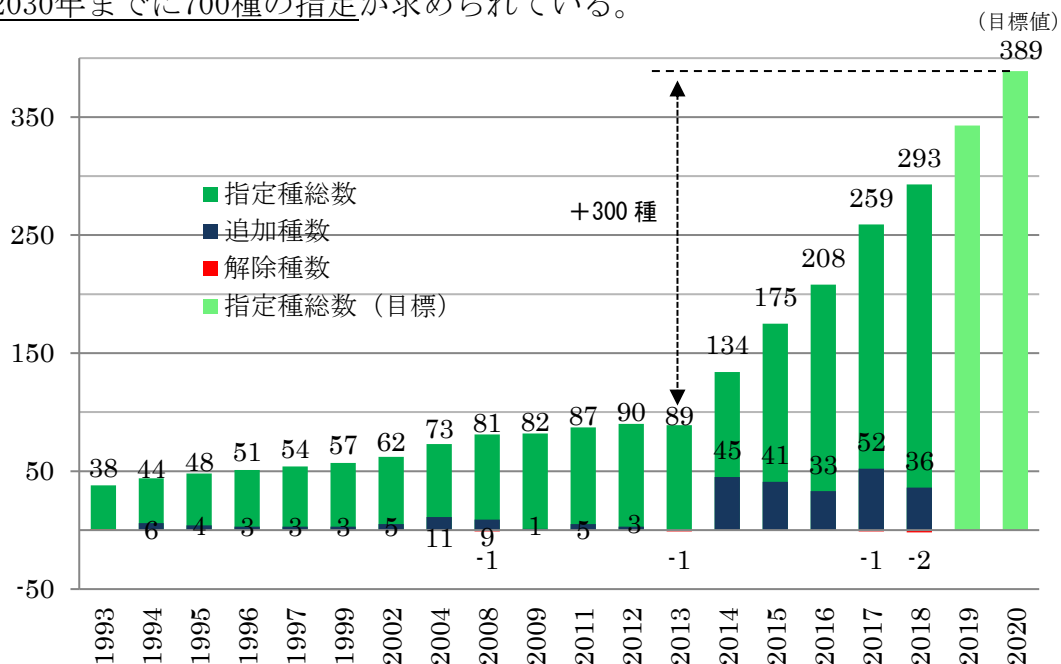


国内希少野生動植物種の指定状況

1. 背景

- 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年法律第75号。以下「法」という。)では、我が国において絶滅のおそれのある野生動植物の種を国内希少野生動植物種として定め(法第4条第3項)、その捕獲、譲渡し、陳列等を禁止することや保護増殖事業等により、種の保存を図っている。
- 2013年法改正時の附帯決議では、2020年までに300種の国内希少野生動植物種を新規指定することが求められ、2014年に環境省が策定した「絶滅のおそれのある野生生物種の保全戦略」に当該目標を明示。これを受けて、2014年度以降、毎年30～50種程度の種を新規に指定。また、2017年法改正時の附帯決議では、2030年までに700種の指定が求められている。



2. 国内希少野生動植物種の指定状況

- 2018年度からは、2017年法改正に基づき、科学的知見を尊重した国内希少野生動植物の指定を推進するため、専門の学識経験を有する者からなる「希少野生動植物種専門家科学委員会」を設置し、種指定についての諮問を開始。
- 2018年度に、エラブオオコウモリ等の36種について、生息数、分布その他の必要な生息情報が得られ、その保存を図る必要があると認められたことから、新たに国内希少野生動植物種として追加。
 - このうち、オガサワラヌマエビについては国民から提案されたもの
 - また、レッドリストにおいて絶滅とされたシマハヤブサ及びウスアカヒゲの2種を国内希少野生動植物種から削除
 - この結果、国内希少野生動植物種は合計293種
- 2020年までに300種を新規指定する目標に対しては、これまでの指定により207種となり、残り93種の新規指定が必要。来年度中までの指定を目指す。

3. 国内希少野生動植物種の2018年度追加指定種

<2018年度に追加した種（36種）>

○別表第一の表二

第一 動物界

綱名	種名	卵・種子の指定	特定第一種
一 哺乳綱	おおこうもり科		
	1) <i>Pteropus dasymallus dasymallus</i> (エラブオオコウモリ)	-	
	ひなこうもり科		
	2) <i>Murina ryukyuana</i> (リュウキュウテングコウモリ)	-	
	3) <i>Myotis yanbarensis</i> (ヤンバルホオヒゲコウモリ)	-	
二 鳥綱	うみつばめ科		
	4) <i>Oceanodroma castro</i> (クロコシジロウミツバメ)	○※1	
	みずなぎどり科		
	5) <i>Puffinus bryani</i> (オガサワラヒメミズナギドリ)	○※1	
三 爬虫綱	とかげもどき科		
	6) <i>Goniurosaurus kuroiwae sengokui</i> (ケラマトカゲモドキ)	○※1	
四 両生綱	あかがえる科		
	7) <i>Odorrana utsunomiyaorum</i> (コガタハナサキガエル)	○※1	
	さんしょうお科		
	8) <i>Hynobius tosashimizuensis</i> (トサシミズサンショウウオ)	○※1	
	どじょう科		
五 条鰭亜綱	9) <i>Cobitis striata hakataensis</i> (ハカタスジシマドジョウ)		
	10) <i>Cobitis takenoi</i> (タンゴスジシマドジョウ)		
	はぜ科		
	11) <i>Gymnogobius nakamurae</i> (コシノハゼ)		
	こがねむし科		
六 昆虫綱	12) <i>Oryctes hisamatsui</i> (ヒサマツサイカブト)		
	とんぼ科		
八 軟甲綱	13) <i>Rhyothemis severini</i> (ハネナガチョウトンボ)		
	ぬまえび科□		
	14) <i>Paratya boninensis</i> (オガサワラヌマエビ)		
	すながに科□		
	15) <i>Paraleptuca boninensis</i> (オガサワラベニシオマネキ)		

※1 鳥綱、爬虫綱、両生綱で、今回新たに国内希少野生動植物種として追加する必要があるもののうち、その卵・種子を指定する必要がある種については、政令第2条第2号において、既に鳥綱、爬虫綱、両生綱として一括指定されている。

(裏面に続く)

(別表第一の表二の続き)

第二 植物界

種名	卵・種子の指定	特定第一種 ※2
おもだか科		
16) <i>Sagittaria natans</i> (カラフトグワイ)		○
ばんれいし科		
17) <i>Polyalthia liukuensis</i> (クロボウモドキ)		
さといも科		
18) <i>Arisaema kawashimae</i> (トクノシマテンナンショウ)		○
すいかずら科		
19) <i>Lonicera kurobushiensis</i> (クロブシヒョウタンボク)		
20) <i>Lonicera uzenensis</i> (ウゼンベニバナヒョウタンボク)		
21) <i>Triosteum pinnatifidum</i> (ホザキツキヌキソウ)		
きく科		
22) <i>Aster asagrayi</i> var. <i>walkeri</i> (ヨナクニイソノギク)		○
おしだ科		
23) <i>Polystichum lonchitis</i> (ヒイラギデンダ)		
ほしくさ科		
24) <i>Eriocaulon seticuspe</i> (ヒュウガホシクサ)		○
ふうろそう科		
25) <i>Geranium shikokianum</i> var. <i>yoshiianum</i> (ヤクシマフウロ)		○
まめ科		
26) <i>Crotalaria uncinella</i> (エダウチタヌキマメ)	○	
27) <i>Intsia bijuga</i> (タシロマメ)		
ゆり科		
28) <i>Fritillaria kaiensis</i> (カイコバイモ)		○
らん科		
29) <i>Peristylus lacertifer</i> (タコガタサギソウ)		
いね科		
30) <i>Piptatherum kuoi</i> (イネガヤ)	○	
うらぼし科		
31) <i>Tomophyllum sakaguchianum</i> (キレハオオクボンダ)		
いのもとそう科		
32) <i>Pteris formosana</i> (台湾アマクサシダ)		
きんぼうげ科		
33) <i>Ranunculus pygmaeus</i> (クモマキンポウゲ)		
34) <i>Thalictrum uchiyamae</i> (ムラサキカラマツ)	○	○
あかね科		
35) <i>Randia sinensis</i> (ヒジハリノキ)		
しなのき科		
36) <i>Triumfetta procumbens</i> var. <i>glaberrima</i> (ケナシハテルマカズラ)	○	

<2018年度に削除した種(2種)>

○別表第一の表一

第一 動物界

綱名	種名	卵・種子の指定	特定第一種
二 鳥綱	はやぶさ科		
	1) <i>Falco peregrinus furuitii</i> (シマハヤブサ)	○	
	ひたき科		
	2) <i>Luscinia komadori subrufus</i> (ウスアカヒゲ)	○	